

令和の福祉イベント新例 ～ 楽しくて、ためになるイベント企画・運営 ～

2019年度 Ver.1



事例 1
福祉体感イベントinモレラ岐阜
来て・見て・ふれて ふくしワールド
【開催日】令和元年7月5日(金)・6日(土)
【開催場所】モレラ岐阜 1階ゴールドプラザほか
(本巣市三橋1100)

目次

- イベント会場の選定.....1
- 関係者の協力関係の構築.....2
- イベントの進行.....5
- 福祉色の出し方・薄め方.....6
- イベントのコンテンツ.....7
- イベント会場の空間デザイン...8
- イベント会場の回遊性.....9
- 広報・PR.....10
- 集客の効果・把握とフォロー...11

【開催趣旨】

少子高齢化に伴い、より多くの福祉・介護人材が求められ、将来の福祉への就労につながるよう、福祉・介護に対する理解を推進する必要がある。

そこで、ショッピングモールに訪れる多様な来場者に向け、日常生活に焦点を合わせたテーマの体験・展示等を通して福祉を体感し、親しんでいただくことで、福祉の世界のイメージアップを図るとともに、岐阜県社会福祉協議会・岐阜県福祉人材総合支援センターの存在を広く周知することを目的に開催する。

イベント会場の選定

ショッピングモールの活用

- ・買い物等で来場した方も立ち寄られるため、集客が期待できる
- ・来場者の駐車場に困らない
- ・モール内のより集客性の高いコーナー（イベントスペース）が望ましい

アンケート結果検証

「イベントを知ったきっかけ」はアンケートに回答した半数以上が、モール内の看板等でのイベント告知や、モール来場時にたまたま通りがかった等と回答している

・また、イベントの事前告知を見ての来場者と、ショッピングモールに来場されイベントを知って立ち寄られた方の割合は半々である。

ショッピングモール内に掲示された看板やデジタルサイネージはイベントを知るきっかけに効果的であった。

会場マップ〈モレラ岐阜1階フロア全体図〉



関係者の協力関係の構築

【協力団体】無印良品、サンクゼール・久世福商店、ワンラブ、ペットパラダイス、岐阜県福祉事業団、介護老人保健施設西美濃さくら苑
社会福祉法人いぶき福祉会、情報科学芸術大学院大学、社会福祉法人岐阜アソシア、株式会社岐阜フットボールクラブ（FC岐阜）
ミカーレ岐阜、本巣市社会福祉協議会 ほか

ショッピングモールとの協力関係構築

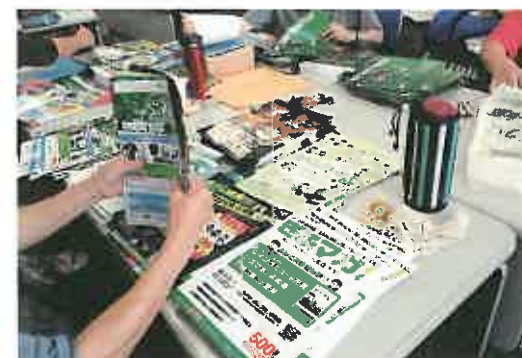
- ・店舗との関係が緊密なモレラ岐阜ならではの企画として実現
- ・モール内の店舗が協力店舗としてイベントに参画することによって、メイン会場への集客、メイン会場からの拡散に貢献
- ・福祉を意識した新商品・サービス開発の契機に
- ・ショッピングモール側と組むことで、集客販売促進・福祉啓発というそれぞれの目的を実現

FC岐阜とのつながり

- ・クラブアンバサダー難波宏明氏や選手による福祉体験・インタビューなどで集客効果有り。
- ・ブラインドサッカーのミニ体験の企画が、岐阜で活動するブラインドサッカーチーム「ミカーレ岐阜」の協力とその活動PRデビューにつながった。

《広報協力》

FC岐阜 ホームゲーム（6月30日）でのチラシ配布
FC岐阜の情報コーナー（マーサ21、岐阜駅等）へのチラシ配架
FC岐阜の岐阜バス内デジタル広告への掲載



▲センター職員も試合で配布する
チラシのファイル詰めに参加
（FC岐阜にて）

情報科学芸術大学院大学 (IAMAS) の 福祉の技術プロジェクト

IAMAS×岐阜アソシア

- 点字封筒を再利用したパーツを組み合わせて作る「モビールづくりワークショップ」や、車いすに取り付けて、自転車に乗るように風を感じられる「オープン・ハンドサイクル」の体験は、多くの子どもが参加



▲IAMASが特別支援学校と共同開発したオープン・ハンドサイクルの説明や、視覚障害者福祉活動を行う岐阜アソシアとのプロジェクトを紹介

岐阜県福祉事業団 自助具の展示・紹介

- 実際に触れて体験してもらうコーナーでは、特別な道具ばかりでなく日常的に便利に使える物もあり、来場者が注目
- 若い方から年配の方まで、来場者が絶えず



▲自助具の展示。手指の機能が衰えても持ちやすいスプーンやフォーク、片手で蓋の開閉ができる容器など、説明を聞いて試してみる

介護老人保健施設 西美濃さくら苑の 介護食試食

- ・施設で提供されている介護食を「きざみ食」「ムース食」などとして提供



▲超きざみ食、きざみ食・ムース食など、利用者の嚥下機能の状態に合わせて提供される食事。とろみをつける理由などコーナーでは施設職員の説明を聞きながら試食

モール内の店舗の参画

- ・会場となるモレウ岐阜側の提案で、双方にメリットがあるような企画を盛り込む
- ・店舗内を車いすで買い物体験する企画を店舗の協力を得て実現
- ・各協力店舗では福祉に関連する商品・サービスの提案などを体験者に紹介

▼看板商品の万能だしと手づくり味噌の味噌汁にとろみをつけ介護食を説明



▼脚の高さを選べるベッドを用い、高さを選ぶポイントや、立ち上がりや移乗の介助のコツを説明



▲車いすで、店内のスロープを車いす体験。介助のポイントの説明を聞く



▲大切なペットの災害時の避難に備え、防災グッズを紹介

イベントの進行

イベントの進行はプロの司会者に

- 福祉に精通した司会者（池戸陽平氏）に進行を依頼
- 普段から福祉に関わりがあるということで、ステージでのトークや各コーナーをまわっての紹介も適切

ベストな時間帯を考える

- ショッピングモールは曜日・時間帯によって来場者の客層に特性がある
- 来場者の多寡
 - 金曜日（12:00～16:00）★★★★☆
 - 土曜日11:30～ ★★★★★
 - 土曜日13:00～ ★★★★★
 - 土曜日14:30～ ★★★★★

※ステージイベントの時間で検証

※天気：曇り モール全体の夏のセール期間であった



福祉色の出し方・薄め方

～『楽しく』・『ためになる』イベントの創造～
「福祉は特定の方々のためだけの特別な世界ではない」ことを実感

薄め方→『楽しく』

- ・来場者が「楽しい」と感じることを切り口に
- ・動きを創出
体感する（車いす体験、ブラインドサッカーミニ体験、介護食の試食など）
クイズをして回る、モバイルづくりなど
- ・ブランディングされた障がい者就労支援施設の商品を販売、記念品にも

アンケート結果検証

「楽しかった」「ためになった」などの声が多い
「子どもが楽しむことができた」ということもポイント
「イベントの満足度」「福祉への関心度」はいずれもアンケート回答の約98%を占める

出し方→『ためになる』

- ・クイズや車いす介助者の説明が、役に立ったと体験者の反響有り



▲ブラインドサッカーミニ体験



▲点字封筒を再利用し、IAMASの技術でカットしたパーツを組み合わせていく



▲モール内でクイズラリー
ピクトグラムが目を引くクイズ看板

イベントのコンテンツ

今回のイベントの構成要素

- ・《展示》《体験》《購買》を通して、『福祉×技術』『福祉×アート・スポーツ』『福祉×食べる』『福祉×働く』『福祉×お買い物』の視点から「ふくし」に触れる

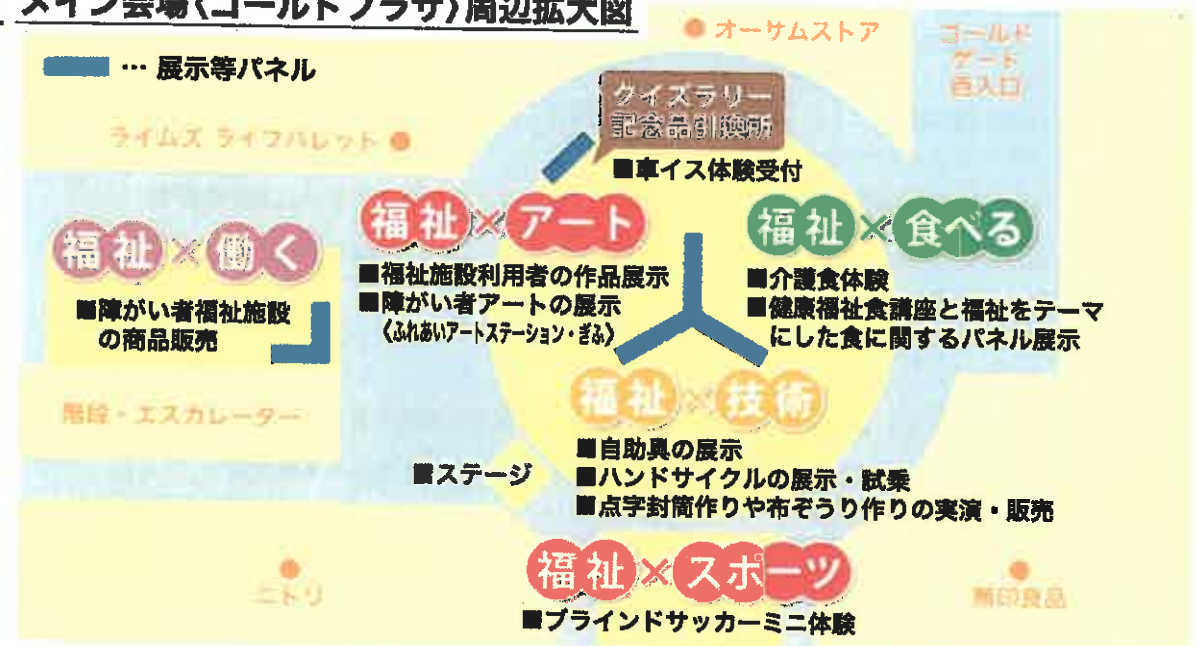
多過ぎず、少な過ぎずが適当

- ・「盛りだくさん」ということも来場者の関心をひくポイント
- ・色々と体験する中から来場者が「楽しい」や「ためになった」と感じ、その日の記憶として後々残ることも

「アート」コーナー

- ・障がい者アート『ふれあいアートステーション・ぎふ』は多くの来場者が「よかった」と反響有り
- ・本巣市社会福祉協議会の事業所の利用者のストローアートなど、鮮やかな作品が会場の雰囲気演出

↑メイン会場〈ゴールドプラザ〉周辺拡大図



イベント会場の空間デザイン

統一イメージで会場に一体感を

- ・チラシ、看板、掲示コーナー（パネル等）のデザインをカラー・イラスト「福祉×〇〇」等を統一して作成

会場の有効活用

- ・モールの広い通路を防球フェンスパネルで仕切ってブラインドサッカーのミニ体験コーナーを設置



イベント会場の回遊性

イベント会場内の導線を効果的に

- より多くのコーナーを見学してもらえるよう、人の流れ、会場のわかりやすさ、各コーナーへの誘導を考慮しメイン会場案内図を設置
- 当日配布資料として、モール全体のイベント開催マップとメイン会場の詳細図を、クイズラリーの解答&アンケート用紙と両面刷りで作成し配布
- ステージで、各コーナー代表者等が司会者との対話でコーナー紹介をした後、司会者と各コーナーをインタビューしながら回り、会場を盛り上げる（導線をスムーズに）
- 各コーナーでは来場者にさらなる来場者が寄り付きいわゆる“さくら”を手配するなど人溜りを作ることも必要
- 様々なお菓子やジャムがきれいに並べられたいぶき福祉会や本巢市障がい者就労支援センターの商品販売コーナーは、モールの来場者をメイン会場へ導く入口として機能



広報・PR

イベントの事前告知

- モレラ岐阜発行の新聞折込チラシ（岐阜県内および県外一部隣接地域）
- FC岐阜のイベント直前ホームゲームでのチラシ配布（6,000枚以上）ほか
- モレラ岐阜から各情報WEBサイトへのイベント情報提供・拡散
- モレラ岐阜内のデジタルサイネージ、A型看板への月刊イベント情報掲載（イベント前一定期間）
- ぎふチャンラジオ 池戸陽平氏による「アクアミュージック」番組内で紹介
- 本巣市及び近隣市町村の図書館への案内（チラシ配架）
- 本巣市社会福祉協議会より中学校への案内
- 岐阜県社会福祉協議会ホームページへの掲載
- イベント関係者のブログ発信

イベント開催中の発信

- モール内の案内放送
- SNS等の活用
- 中日新聞7月6日(土)朝刊への記事掲載



集客の効果・把握とフォロー

集客促進

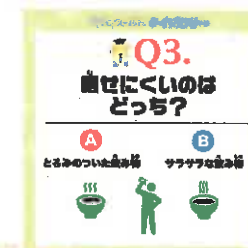
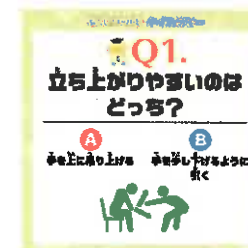
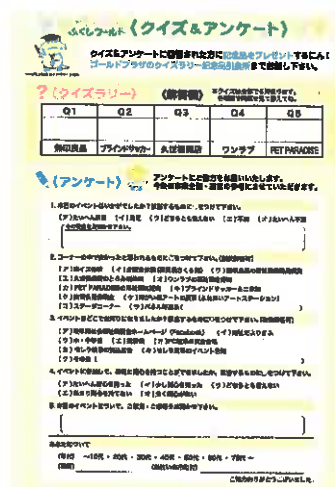
- 福祉に関するクイズラリーを実施し、参加した方には解答・アンケート用紙を記念品と引き換え

参加者への情報発信

- 参加者には、クイズの解答解説と、福祉の仕事への就労に向けた人材センターからのメッセージを添えて人材センターの事業案内を記載し、センター事業のチラシ等と同封して配布

話題性創出

- 岐阜県「社協マスコットキャラクター ともにん」の効果的活用



障がい者就労支援施設に人気商品を発注





岐阜県福祉人材総合支援センター 事業案内

- 無料職業紹介事業所 求人事業所・求職者マッチング支援
- 福祉の職場体験事業
- 福祉・介護の職場従事者向け各種研修
- 介護福祉士等届出制度 届出者支援
- 介護福祉士等修学資金貸付制度 など

□□□ お問い合わせ □□□
岐阜県社会福祉協議会
岐阜県福祉人材総合支援センター
TEL:058-276-2510
〒500-8385
岐阜市下奈良2-2-1 福祉・農業会館